

第30回米子市水道事業審議会 資料

- ・令和3年度米子市水道事業会計予算（案）
について

令和3年2月9日(火)

令和 3 年度当初予算の概要

編 成 方 針

近年、水道事業は人口減少などに起因し、水需要の減少傾向は依然として続いている。料金収入の減収する一方で老朽施設の更新などに多大な資金を必要としており、多くの水道事業者は厳しい経営状況に置かれている。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、これまで経験したことのない国難ともいえるべき局面に直面し、極めて厳しい社会情勢にある。また、大型台風や豪雨による大規模災害が多発するなど、自然災害の被害が激甚化し、しかも頻発している。

この様な状況の中、米子市水道局においても、水需要は伸び悩み、給水収益はこの 10 年間で 2 億 2 千万円減少し、減少傾向は依然として続いている。一方で、経年劣化する配水管の耐震化対策、老朽化が進む水源施設の大規模更新や長寿命化対策などが不可欠となっており、事業経営は更に困難さを増す状況である。

これらを踏まえ、平成 30 年に策定した「第 2 次米子市水道事業基本計画」をもとに、更に精査し、収支バランスを具体的に示した「米子市水道事業経営戦略」を策定した。

令和 3 年度予算においては、計画に掲げた施策の着実な執行を図りつつ、引き続き安全で強靱な水道事業を継続的に運営できるように編成した。

経常的経費については、さらなる効率的な運営を目指して、経常利益の確保に努め、建設改良事業については、管路の耐震化を確実に促進するため、優先度を考慮した配水管等の改良事業を実施し、水源地においては、老朽施設の更新及び改修に取り組み、より一層安全な水を安定的に供給していくこと及び災害に強い水道事業の構築を目指している。

料 金 収 入

令和 2 年度において、新型コロナウイルス感染症の影響で、年度前半の給水収益は大きく落込みを見せたが、中盤からは回復の兆しもあり、決算の見込みは、前年度を若干下回る程度の予測である。

依然として先行き不透明の状況は続いているが、コロナによる影響を見積もることは困難であるので、過去の推移とそのほかの諸条件を勘案し、前年度の当初予算と比較して、0.7% (2,013 万円) の減収を見込むこととした。

建設投資

配水管工事においては、基本計画に沿って、引き続き弓浜部や境港市へ向かう基幹管路更新事業や耐震化工事等を進めていく。また、前年度に引き続き、防衛省の安定給水補助事業として、境港市で大口径の耐震管布設替工事を実施する。

水源地関係では、戸上水源地を中心に、電気設備や取水井戸のリニューアルなどを進める。また、車尾水源地では、前年度に引き続き、調整池更新工事を実施し、効率的な安定給水の確保に努める。

予算規模（当初予算比較）

▲収益的収支（税込み） ～水道水をお届けするための経常的な予算～

水道事業収益の大半を占める給水収益において、対前年度比で 0.7%（2,013 万円）の減とし、総収益は、受託工事収益の増などにより 36 億 5,171 万円で、対前年度比で 0.9%（3,179 万円）の増とした。

収益的支出総額は、33 億 6,875 万円で、受託工事費用の増などにより、対前年度比で 1.6%（5,347 万円）の増とした。

この結果、純利益は消費税込みで 2 億 8,296 万円（消費税抜きで 1 億 3,338 万円）となる見込みである。

▲資本的収支（税込み） ～水道施設を整備するための投資的な予算～

資本的収入総額は、12 億 9,235 万円で、工事負担金、国庫補助金の減により、対前年度比で 3.6%（4,829 万円）の減とした。

資本的支出総額は、27 億 581 万円で、建設改良費の減により、対前年度比で 11.4%（3 億 4,710 万円）の減とした。

主な建設改良事業の概要

水道管に関する事業

税込み(単位:千円)

事業名	事業内容	令和3年度 当初 予算額	令和2年度 当初 予算額	増減	対前年 度比
		千円	千円	千円	%
1 配水管改良事業	計	757,865	725,432	32,433	104.5
(1) 配水管	鋳鉄管 ポリエチレン管 4,167 m φ50～φ300mm	219,349	191,875	27,474	114.3
(2) その他	離脱防止金具取付工事ほか	19,723	18,073	1,650	109.1
(3) 負担金工事	鋳鉄管 ポリエチレン管 φ50～φ500mm 5,597 m 離脱防止金具取付工事ほか 消火栓 φ75mm 10 か所	352,176	407,748	△ 55,572	86.4
		161,007	103,994	57,013	154.8
		5,610	3,742	1,868	149.9
2 老朽管更新事業	鋳鉄管 ポリエチレン管 2,040 m φ50～φ100mm	106,784	103,718	3,066	103.0
3 基幹管路更新事業	富益工区 鋳鉄管 φ500mm 500 m	129,526	212,500	△ 82,974	61.0
4 防衛補助事業	境港市誠道町、小篠津町地内 鋳鉄管φ200～φ300mm 360 m	53,039	127,713	△ 74,674	41.5

水源地を整備する事業

税込み(単位:千円)

事業名	事業内容	令和3年度 当初 予算額	令和2年度 当初 予算額	増減	対前年 度比
5	米子市福市 戸上水源地電気設備更新事業(継続費) 深井戸5号井更新工事 ポンプ井更新工事 耐震診断及び基本設計及び詳細設計	千円 574,460	千円 23,311	千円 551,149	% 著増
6	車尾水源地 調整池更新事業 (R2~R4) ほか	479,132	464,745	14,387	103.1

継続費に関する年割額予定

◇ 事業名

戸上水源地 電気設備更新事業

◇ 事業内容

戸上水源地は米子市水道局の中核を担う取水送配水施設の拠点として、昭和60年完成し、現在に至っている。

本事業は、取水送配水に関わる受変電設備、非常用発電設備など動力の基となる重要な設備であり、戸上水源地の重要性を鑑み、水道事業の安全性、信頼性を高め、健全化・長寿命化を図るための更新である。

これらの設備は日頃よりメンテナンス・保守点検など適正な維持管理を行っているが、完成から35年が経過し故障リスクが飛躍的に高まっていることもあり、基本計画・詳細設計を経て令和3年度から7年度までの5か年での事業展開を計画している。

全 体 計 画				総額に対する 進捗予定率	工 事 内 容
年度	年割額	左の財源内訳			
		企業債	損益勘定留保 資金ほか		
令和	千円	千円	千円	%	
3	475,218	350,000	125,218	38.0	発電機室建築工事 電気工事1年目
4	105,444	90,000	15,444	8.4	電気工事2年目
5	364,731	330,000	34,731	29.1	電気工事3年目
6	280,680	250,000	30,680	22.4	電気工事4年目
7	25,482	0	25,482	2.1	電気工事5年目
計	1,251,555	1,020,000	231,555	100.0	

令和3年度米子市水道事業会計当初予算総括表

1 収益的収入

税込み（単位：千円）

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 営業収益	3,314,874	3,280,944	33,930	101.0	
(1) 給水収益	3,015,870	3,036,000	△ 20,130	99.3	水道料金収入
(2) 受託工事収益	172,007	114,581	57,426	150.1	下水及び土木工事に伴う負担金工事収入 161,007 受託修繕工事収入 9,295
(3) 加入者納付金	32,883	33,863	△ 980	97.1	新設加入者
(4) その他営業収益	94,114	96,500	△ 2,386	97.5	検査手数料収入 8,410 消火栓維持補修負担金ほか 12,888 下水道使用料徴収事務受託料 72,706
2 営業外収益	336,821	338,957	△ 2,136	99.4	
(1) 受取利息及び配当金	56	193	△ 137	29.0	預金利息収入
(2) 他会計補助金	9,965	9,965	0	100.0	統合簡水に係る一般会計補助金ほか
(3) 補助金	150	0	150		水道週間活動支援助成金
(4) 長期前受金戻入	324,567	326,667	△ 2,100	99.4	
(5) 雑収益	2,083	2,132	△ 49	97.7	「よなごの水」販売代金 852 駐車場収入 580
3 特別利益	10	10	0	100.0	
(1) 過年度損益修正益	10	10	0	100.0	
合 計	3,651,705	3,619,911	31,794	100.9	

2 収益的支出

税込み（単位：千円）

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 営業費用	3,158,106	3,116,154	41,952	101.3	
(1) 原水及び浄水費	479,637	456,108	23,529	105.2	動力費 130,236 委託料（各設備保守委託料ほか） 36,997 水源地設備修繕費 44,929 薬品費 5,101 賀祥ダム管理費負担金 70,390
(2) 配水費	362,657	334,945	27,712	108.3	工事請負費 43,863 配水管等維持修繕費 125,116 委託料（休日修繕業務委託料ほか） 39,510
(3) 給水費	149,092	151,188	△ 2,096	98.6	検満メーター取替工事費 31,415 メーター修理費ほか 50,736
(4) 受託工事費	172,052	114,627	57,425	150.1	下水及び土木工事に伴う工事費 161,007 受託修繕工事費 10,945
(5) 業務費	320,489	318,786	1,703	100.5	料金システムほか賃借料 14,374 委託料（点検委託料ほか） 66,039 通信運搬費 15,299
(6) 総係費	316,699	307,410	9,289	103.0	委託料 14,271 備消耗品費 5,345
(7) 減価償却費	1,251,448	1,232,878	18,570	101.5	固定資産減価償却費
(8) 資産減耗費	105,867	200,047	△ 94,180	52.9	管路撤去工事費 55,366 固定資産除却費（非現金） 50,000
(9) その他営業費用	165	165	0	100.0	
2 営業外費用	197,639	186,125	11,514	106.2	
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	142,335	151,080	△ 8,745	94.2	企業債利息
(2) 雑支出	600	600	0	100.0	
(3) 消費税及び 地方消費税	54,704	34,445	20,259	158.8	
3 特別損失	3,000	3,000	0	100.0	
(1) 過年度損益修正損	3,000	3,000	0	100.0	過年度分の料金減額還付など
4 予備費	10,000	10,000	0	100.0	
(1) 予備費	10,000	10,000	0	100.0	
合 計	3,368,745	3,315,279	53,466	101.6	
純利益	282,960	304,632	△ 21,672	92.9	税抜き額 133,378（千円）

3 資本的収入

税込み（単位：千円）

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 企 業 債	960,000	886,800	73,200	108.3	老朽管更新事業 90,000 基幹管路更新事業 80,000 戸上水源地電気設備改修 350,000 車尾水源地調整池更新事業 440,000
2 工 事 負 担 金	256,405	314,657	△ 58,252	81.5	配水管負担金工事収入
3 他 会 計 出 資 金	4,610	4,499	111	102.5	統合簡水に係る一般会計出資金
4 補 助 金	71,331	134,683	△ 63,352	53.0	基幹管路更新事業 43,175 防衛補助事業 71,331
合 計 ①	1,292,346	1,340,639	△ 48,293	96.4	

4 資本的支出

税込み（単位：千円）

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 建 設 改 良 費	2,109,802	2,507,407	△ 397,605	84.1	
(1) 改 良 費	2,109,802	2,507,407	△ 397,605	84.1	水源施設整備費 1,029,904 配水管布設工事費 881,263 委託料 15,213 水質検査機器・メーター・車両更新費等 183,422
2 企 業 債 償 還 金	596,010	545,505	50,505	109.3	
(1) 企 業 債 償 還 金	596,010	545,505	50,505	109.3	元金償還金
合 計 ②	2,705,812	3,052,912	△ 347,100	88.6	

②-①（投資的経費の収支の不足額）

税込み（単位：千円）

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
差 引 不 足 額 ③	1,413,466	1,712,273	△ 298,807	82.5	

5 資本的収入不足額の補てんの内容

(前頁の投資的経費の収支の不足額③を以下のとおり補てんする。)

税込み(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
当年度分損益勘定留保資金	977,380	956,710	20,670	102.2	当年度の減価償却費など
繰越利益剰余金	286,471	581,655	△ 295,184	49.3	
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	149,615	173,908	△ 24,293	86.0	
合 計	1,413,466	1,712,273	△ 298,807	82.5	

6 予定剰余金処分計算 (税抜き)

《処分(補てん)前の合計額》

税抜き(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
繰越利益剰余金	2,570,947	2,692,676	△ 121,729	95.5	
当年度利益剰余金	133,378	130,764	2,614	102.0	収益的収支の損益結果
合 計 ④	2,704,325	2,823,440	△ 119,115	95.8	

《処分額》

税抜き(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
建設改良積立金 (補てん財源)	286,471	581,655	△ 295,184	49.3	(建設改良費の補てん財源として全額使用)
減債積立金	6,700	6,600	100	101.5	
合 計 ⑤	293,171	588,255	△ 295,084	49.8	

*決算認定と同時に、処分する予定。

④-⑤ 《補てん後の最終額》

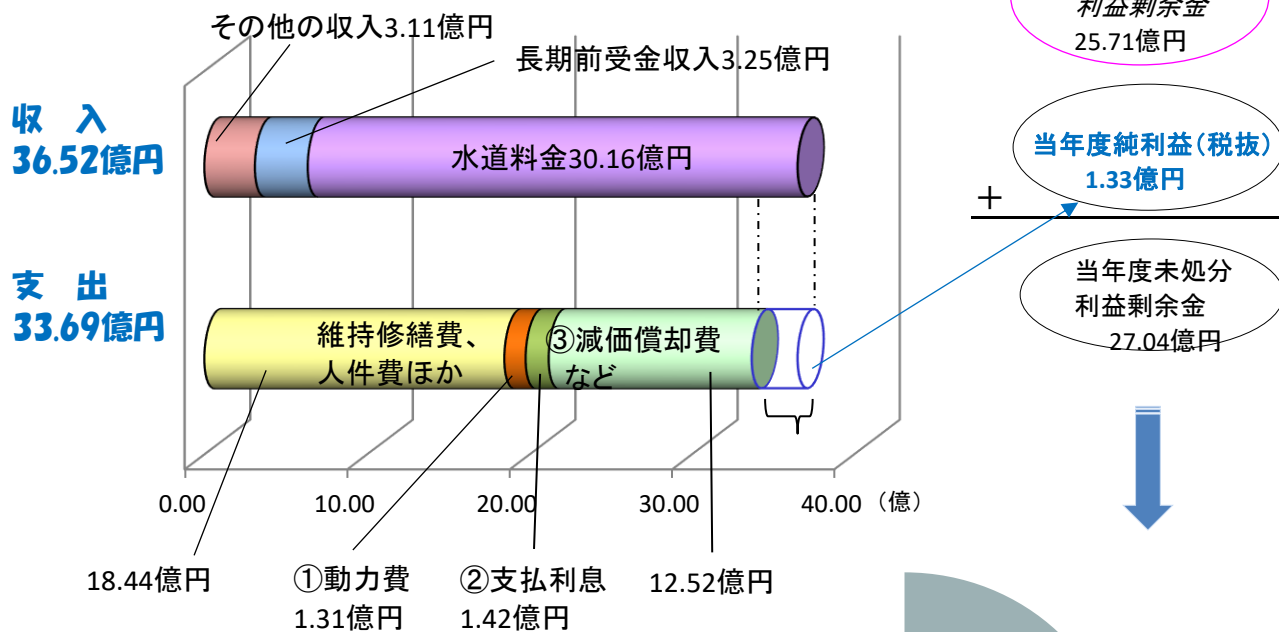
税抜き(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
翌年度利益剰余金	2,411,154	2,235,185	175,969	107.9	

*資本的収支不足額の補てん後の額を示す。

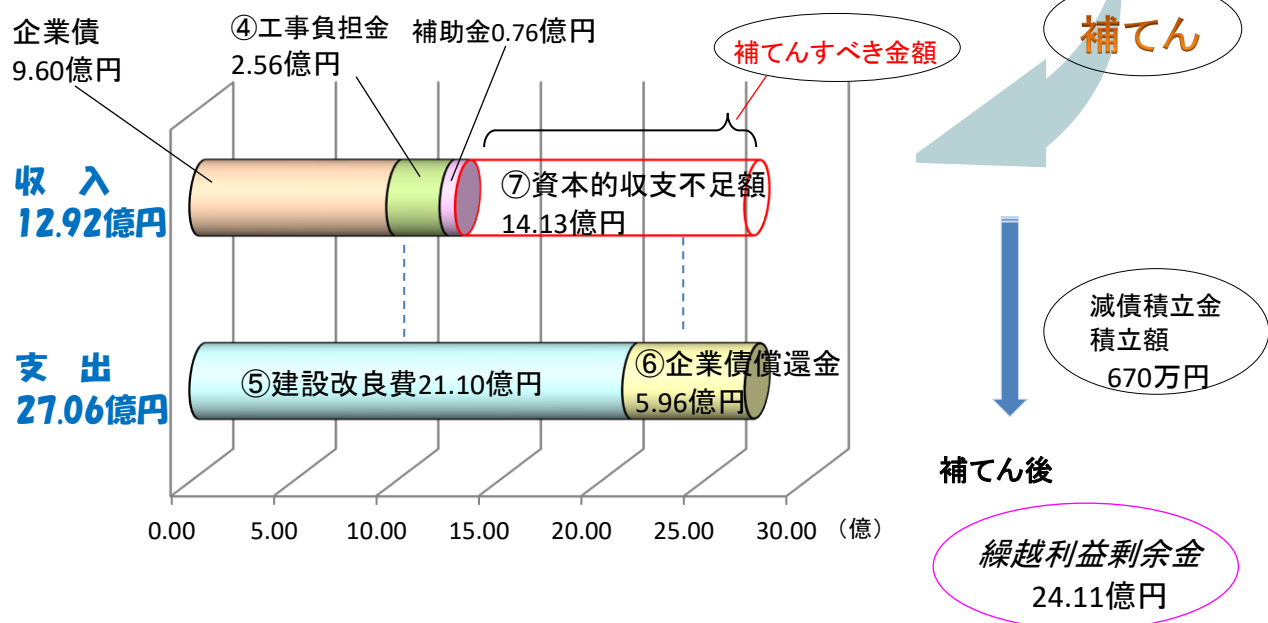
★収益的収支の予算（税込み）

（事業の運営や水道施設の管理に係る経常的な収支）



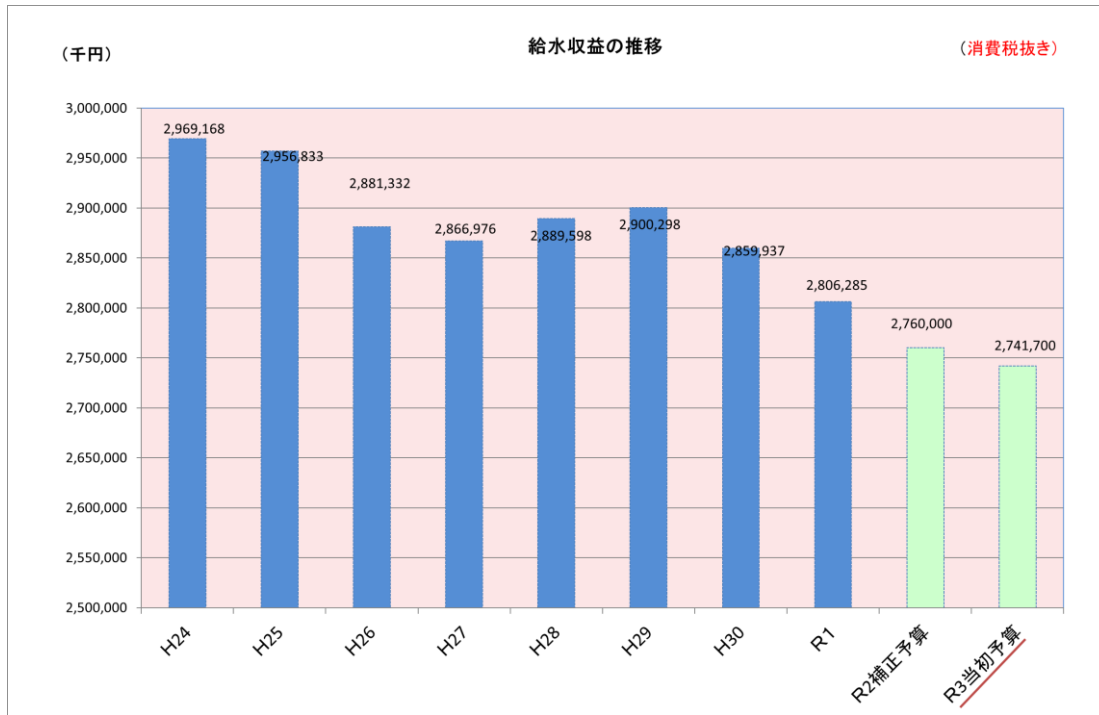
★資本的収支の予算（税込み）

（水道施設の新設や更新などに係る投資的な収支）

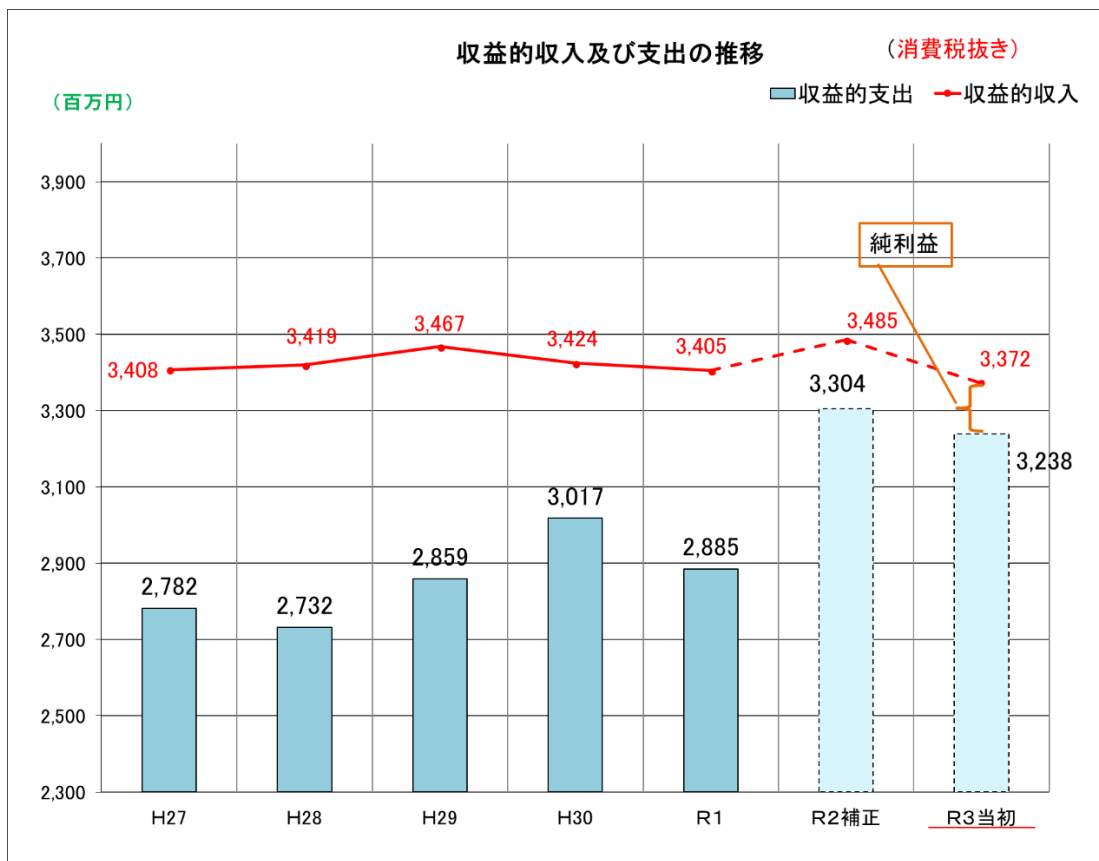


- ①動力費 …水道水をお届けするために必要な電気料金。
- ②支払利息 …企業債(借入金)の利息。
- ③減価償却費 …施設の新設や更新に使ったお金を一度に費用とはせず、毎年、費用化するものです。
- ④工事負担金 …下水道や土木工事などに伴い発生する他会計が負担すべきお金です。
- ⑤建設改良費 …施設の建設費や更新に伴う改良工事費で投資的要素があるものです。
- ⑥企業債償還金 …企業債(借入金)の元金の返済です。
- ⑦資本的収支不足額 …減価償却費や繰越利益剰余金などの内部留保資金で補てんします。

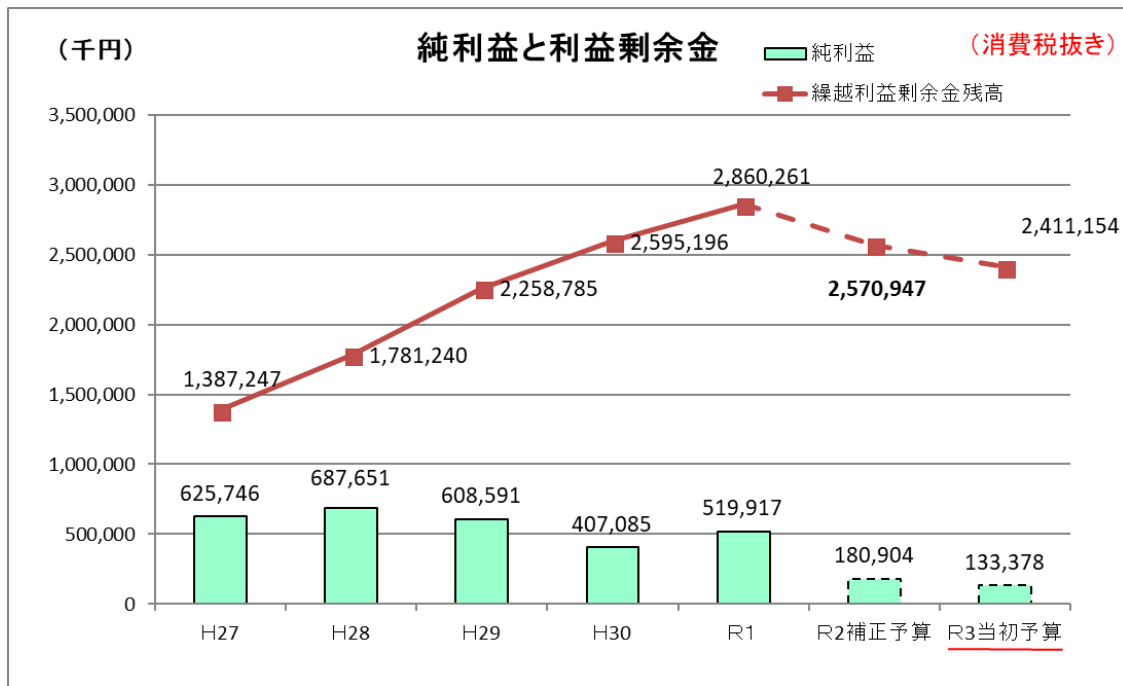
水道料金収入の推移



経常的な経費の推移



純利益と利益剰余金の推移



起債残高と借入額の推移

